

# 添付文書

＊ ＊ 平成 21 年 11 月 2 日 改訂 3 版  
＊ 平成 17 年 10 月 5 日 改訂 2 版  
平成 14 年 12 月 10 日 新規作成

承認番号 15900BZZ00531000

類 別：器具機械 06 呼吸補助器  
管理医療機器 一般的名称：＊ ＊ 酸素治療フローメータ 37132000  
特定保守管理医療機器

## 医療用加湿器付酸素調整器 MB—10

### 取扱説明書を必ずご参照する

#### ■ 警告

- ※ 取扱説明書と本添付文書を読み、操作方法や保守点検を十分理解された上で、ご使用下さい。
- ※ 本製品は、酸素吸入用です。それ以外の用途に使用しないで下さい。
- ※ 医師の処方がない酸素吸入は、行わないで下さい。
- ※ 本製品は、医療用酸素ガスに使用します。決して他のガスには使用しないで下さい。特に可燃性ガスに使用しますと爆発する可能性があります。
- ※ 接ガス部には絶対に機械油などの潤滑油を使用してはいけません。爆発燃焼する危険性があります。
- ※ 酸素容器のバルブは 1 秒間に 5 度程度の速度で開いて下さい。急激に開けると酸素の断熱圧縮で爆発燃焼する危険性があります。
- ※ 使用場所では火気厳禁です。通風と換気には十分注意して下さい。
- ※ 使用前に必ず点検し、異常が認められたら使用しないで下さい。
- ※ 本製品を落下させたり、衝撃を与えたりしないで下さい。

#### ■ 禁忌・禁止

- ※ 製品の 1 次圧力は最高使用圧力 14.7MPa 以上の圧力で使用しないで下さい。
- ※ 2 次圧力は 0.2MPa に設定されています。設定圧力を変更しないで下さい。
- ※ 容器のねじが変形している場合は、本製品を無理に取り付けしないで下さい。ねじが破損します。

#### ■ 形状・構造及び原理等

形状及び構造は図面を参照下さい。

#### ■ 使用目的、効能又は効果

本製品は、酸素ガス吸入に使用されます。

酸素容器に充填されている圧縮ガスを使用圧力 (0.2MPa) まで減圧し、更に吸入量を流量計にて所定の流量に設定するものです。

流量計の出口に加湿器を取り付けることにより、適度に湿潤された酸素ガスを供給できます。

#### ■ ＊品目仕様等性

使用ガス：局方酸素ガス

1 次圧力：1.0 ～ 14.7 MPa

2 次圧力：0.2 MPa 設定

流量調整範囲：＊ ＊ 1.0 ～ 10 L/min (Normal)

#### ■ 操作方法又は使用方法

##### (a) 設置方法

本製品の足ねじを酸素容器弁に直接取り付けます。

##### (b) 組立方法

流量計が垂直になるようにスパナ又はモンキレンチにより締め込んで下さい。

必要に応じて、加湿器を取り付けて下さい。

カニューラあるいはマスクを接続する。(チューブにねじれないことを必ず確認する。)

##### (c) 使用方法

① 酸素容器弁を開くと容器内のガス圧力を圧力計で確認する。

② 流量計のハンドルを反時計方向に回し、医師の処方による吸入量の目盛りでフロートが浮くよう調整し、カニューラ、マスクから酸素が出ていることを確認し、吸入を開始して下さい。

③ 吸入を止める時は、酸素容器弁ハンドルを時計方向へ止まるまで回し、次に流量計ハンドルを時計方向へ止まるまで回して下さい。

④ 酸素が出なくなったことを必ず確認して下さい。

##### (d) 取り外し

① スパナ又はモンキレンチを使って足ねじの袋ナットを緩めて下さい。

② 酸素容器から本製品を取り外し、ポリ袋等に包み保管して下さい。

#### ■ 使用上の注意

##### (a) 重要な基本的注意

① 酸素容器弁は 1 秒間に 5 度程度のゆっくりした速度で開いて下さい。

② 酸素容器弁を開くときは、圧力計の前に立たないで下さい。

③ 接続部からガス漏れがないか検知液で点検して下さい。

④ 流量計が垂直になるように取り付けして下さい。

⑤ 多量のガスを流すと、ガスの性質上温度低下を生じます。ガス漏れなど注意して下さい。

⑥ 供給チューブは、適正な長さで、ねじれなくご使用下さい。

